

鉦が奏でる宴の舞

野崎地区の上石上にある温泉神社例大祭で奉納される、「城鉦舞」。

毎年10月第2日曜日に奉納されるこの舞は、栃木県の無形民俗文化財に指定されており、その起源は450年以上前にさかのぼります。

今月は、この「城鉦舞」について、城鉦舞保存会にお話を伺いました。



特集
A special feature article 城鉦舞

月	催事名 場 所
10	上石上温泉神社 例大祭
	上石上温泉神社
2	大田原藩主墓前祭
	大田山光真寺 (山の手2)
4	のざき桜まつり
	上石上公園
8	野崎地区夏まつり
	野崎駅前広場

毎年、城鉦舞保存会では、10月の上石上温泉神社例大祭のほか、左表の催事の場合で奉納を行います。

また、このほかにも、野崎地区の文化祭や芸能フェスティバルなどのイベントでも

城鉦舞保存会について

毎年、城鉦舞保存会では、10月の上石上温泉神社例大祭のほか、左表の催事の場合で奉納を行います。



舞う団扇取り

城鉦舞は、まず、「豊年囃子」を口ずさみながら入場をします。

そして、配置につくと、①トロロー ②イレハ ③トレハノ ④ヒーローヒイレロ ⑤オカザキ ⑥オヒヤルという6曲(6演目)を踊ります。

団扇取りは演目中、演奏に合わせて「サッ サッサア」と掛け声をかけます。この掛け声そのものには特に意味はなく、大田原城を築城する際に、労働する農民たちを督励したものの名残りであるといわれています。

インタビュー②

城鉦舞保存会と一緒に、鉦打ちとして城鉦舞に参加している3名の女の子にも、コメントをいただきました。



石上小学校5年(右から)

藤原 瑠菜さん
鈴木 夏乃さん
関谷 杏弥音さん

声をかけていただく機会があり、例年、5回から6回ほど、城鉦舞を披露しています。

保存会は現在9名の会員と、上石上小学校の2年生から5年生までの女の子12名で構成されています。女の子たちは保存会で選考し、各学年から3名ほど、声をかけさせていただいています。

練習は、大人は月に一度、月末の日曜日に行います。子どもたちはイベント前の3日間で練習を行います。

子どもたちの舞の練習は、基本的には大人が指導を行います。10月の例大祭の練習だけは、新しく入ってきた2年生に、前任していた6年生の子たちが踊りを教えます。

練習は3日間しかないで、子どもたちも一生懸命、舞いを覚えます。



のざき桜まつりの城鉦舞

藤原さん：最初は難しく感じていましたが、今では緊張もせず、楽しく演じています。

城鉦舞は伝統芸能なので、もし、自分の子どもが女の子だったら、参加してほしいなと思います。

鉦打ちの踊りがそろそろうようにたくさん練習しているので、そこを見てほしいです。

鈴木さん：城鉦舞の練習は楽しくて好きです。演じるときは赤と白(日天と月天)で踊りが反対になるので、わからなくなつたときは前の人をしつかりみて踊りを合わせられるように心がけています。

もし、自分が鉦打ち以外を演じることがあったら、笛吹きをやってみたいです。

関谷さん：城鉦舞について、はじめはなにも知りませんでした。演じるときはいつも緊張しますが、踊りを覚えてからは、だんだん慣れてきました。

今度、城鉦舞が大好きな妹が鉦打ちに新しく入るので、一緒に頑張りたいです。



■上石上温泉神社例大祭
日時：10月9日(日) 午前10時
場所：上石上温泉神社(上石上1555-2)
大田原資清も気に入ったこの舞を、ぜひ一度、ご覧ください。